

ゆりかまめ Yurikamome



新年のごあいさつ 会長 増田 正樹

新年明けましておめでとーございます

昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回され、未だ終息の見えない不安の中で暮らしています。

当会の活動においても、例年であれば、冬は越前ガニに舌つつみを、春は桜に誘われて、春と秋は見所を巡ってと、四季折々訪れる多くのお客様へのガイドを担っておりましたが、昨年四月にはガイド活動を中止、九月になつてようやく再開することができました。以前と同じ笑顔でお迎え、でもお互いに感染予防に配慮しながらのご案内となっております。

一方、六月には、敦賀市にとって二件目の日本遺産「海を越えた鉄道と世界につながる鉄道のキセキ」が認定され、十一月には人道の港敦賀ムゼウムがリニューアルオープンしており、魅力ある観光資源の輝きが増しています。北陸新幹線敦賀開業に向け、多くの観光客をお迎えする準備が着々と整いつつあります。

一昨年策定された「北陸新幹線敦賀開業に向けた敦賀市行動計画」の基本方針にもある「ホスピタリティあふれる敦賀人の育成」について、当会は魅力あるガイドの充実、市民向け出前講座の実施等を推進することとしていきます。具体的には、研修会の開催や当会の作成図書「みなと・つるが・いまむかし」の改訂作業を通じたガイドスキルの向上、また市民のおもてなし力向上取組として、敦賀の「みどころ」ガイドブックの活用や出前教室の教材作成をそれぞれ進めています。

ガイド活動とガイドスキル向上、自主活動と他主体との協働、今できる活動と将来につながる活動等、多面的な視点を持ち積極的に進めて参ります。

本年も、当会の活動についてご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。



ごあいさつ

神楽べっぴん会 会長 中道尚子さん



「女性の目線でいろいろ発信してほしい」という商店街振興組合の理事長の発案を受け、4年前に結成し現在は13名のべっぴんおかみで活動しています。お正月にはつきたてのお餅を敦賀の花「萩」の木に飾って本物の餅花を作り、5月には「鯉のぼり」を商店街のアーケードに取り付けたりして、商店街に季節や彩を感じてもらえるような企画を行っています。そんな企画を通して、べっぴん会メンバー自身が今まで以上に仲良くなり、一層楽しい会になつてきていると感じています。

また、これからの北陸新幹線敦賀開業に向け自分達商店店に出来ることは何かをいろいろな角度から意見交換し、各店舗がお互いに刺激しながら活動を模索してきます。微力ながら敦賀の賑わいのために頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



皆さん、こんにちは。神楽一丁目商店街振興組合のおかみの集まり「べっぴん会」代表の中道尚子です。私たちの会は、

INFORMATIONs

☆敦賀市立博物館 「刀剣資料公開展」

現在、敦賀市立博物館では、「刀剣資料公開展」が開催されています。博物館が所蔵する郷土ゆかりの刀剣を中心に、優れた刀剣や刀装具などが四期に分けて展示紹介されています。ぜひこの機会にご覧ください。

- 日時/ 第1期：12月18日(金)～1月11日(月) 敦賀の古刀
 第2期：1月13日(水)～1月29日(金) 郷土の刀剣と新刀
 第3期：1月30日(土)～2月14日(日) 越前康継と下坂鍛冶
 第4期：2月16日(火)～3月2日(火) 若狭冬廣を中心

☆福井県立歴史博物館 「越前・若狭 願いの形」

令和3年は、嶺北地域(敦賀を除く旧越前国)と嶺南地域(旧若狭国と越前敦賀)がひとつとなり、現在の「福井県」が成立してから140年目の年にあたります。嶺北と嶺南は、古くからそれぞれ関わりながら独自の歴史と文化を積み上げてきた地域で、多彩な文化財が伝えられています。

この企画展では、嶺南・嶺北の人々の「願い」がこもる品々を中心に、両地方の魅力と多様さが紹介されています。2月7日は「ふるさとの日」、ふるさと福井の多彩な文化財に触れてみては如何ですか。

- 日時/ 令和3年1月3日(日)～2月14日(日)

ガイドの依頼・問合せ

ガイドの依頼及び問合せは、敦賀観光協会にて受け付けています。申込み用紙は、下記のアドレス(敦賀観光案内サイト浪漫敦賀)からダウンロードし、必要事項を記入していただいた後、敦賀観光協会宛てにお送りください。

敦賀観光協会 TEL 0770-22-8167

FAX 0770-22-8197

<http://www.turuga.org/index.html>

ガイドメンバー募集中

観光ボランティアガイドつるがは、随時メンバーを募集しています。敦賀のことをもっと知りたい方、観光に來られた方に紹介したい方、人と接するのが好きな方、入会に制限はありません。下記の連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

ボランティアガイドつるが TEL 0770-21-0056

敦賀観光協会 TEL 0770-22-8167

編集後記

各地で熊の出没が多発しています。我々ボランティアガイドも金崎城址や玄蕃尾城跡など熊の出るようなところの案内には、熊よけの鈴を携帯することになりました。

熊出没の原因は、もともと奥山に暮らしていた熊が、餌となるドングリの実などの不作もあります。人が立ち入らなくなった里山に住みつき、空き家になつた人家の庭の實を食べたり、農作物を食べに来るなど、容易に食物が得られる人の生活圏へどんどん入ってきたといわれています。

熊も生活のために必死です。単に駆除すれば済むことではありません。熊さんに山へ帰ってもらうための方法を考えたいかなといけません。(蔵)

「日本遺産」 鉄道のキセキ ②

地域の有形・無形の文化財をテーマでまとめて観光振興などに繋げる「日本遺産」に、敦賀市、南越前町、長浜市にまたがる旧北陸線沿いの鉄道遺産の魅力を伝えるストーリー『海を越えた鉄道く世界へつながる鉄道のキセキ』が昨年6月に認定されています。今回は、敦賀市内にある「眼鏡橋」を紹介します。

眼鏡（めがね）橋、敦賀市内にあるんやてか？どこに？

こんな声が聞こえてきそうですね。敦賀駅を背に真っ直ぐに進み、交差する国道8号線を左に約50メートル、左手に空き地があります。ちくわを縦に半分切って並べて伏せた格好の眼鏡橋がここにありま。およそ140年前、明治15年（1882年）頃イギリス製の蒸気機関車がここを走っていたのです。

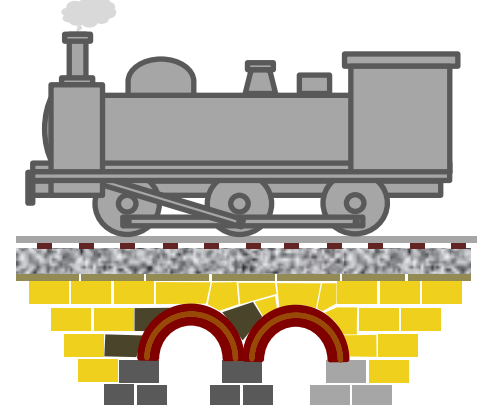


よくぞ残っていてくれた、日本遺産認定に間にあってよかった。掃除や除草を率先して行い保存作業に当たられてきた川勝

☆何故ここにあるの？

当時の線路は、南の正田方面から来た列車が氣比神宮の前にあつた旧敦賀駅へ、更に終点の金ヶ崎駅と向かつたのです。当時、眼鏡橋の付近は田んぼの真ん中で水路をまたぐ橋が必要で造られたものです。列車の重量に耐えられる橋は木造では無理。当時の技術で、レンガを積み重ねる方法で作られました。

☆どんな形をしているの？
明治のころに造られた旧北陸線のトンネルの多くと同様に土台の部分は石積み、その上からアーチ状にレンガが積まれています。
その後、明治42年（1909年）、敦賀駅は氣比神宮前から現在の場所に移り、線路も眼鏡橋から離れた場所に変



わったことで約30年の橋の役目は終わったのです。

（文責・倉谷長武）

小さな宝に大きな歴史 「眼鏡橋に思う」

川勝紀男氏

日本遺産に旧北陸線トンネル群が認定され、鉄道ファン、敦賀市民としても喜ばしいこと。その片隅に静かな存在の「眼鏡橋」があります。長崎

のめがね橋には及びませんが、七年前にこの橋が壊されるかもとの情報が入り、敦賀市に保存をお願いし幸いにも現在に至っております。この時ボランティアで面倒をみたいと市に申し出て承認を得ました。長続き出来るよう自分なりに行動しよう！と除草、水路掃除、レンガその他全体の点検を定期的の実施しています。今では、THAPグループの皆さんにも協力をいただきボランティア活動を行っています。小さな宝ながら大きな歴史のある「眼鏡橋」！鉄道の町つるが、新幹線も来て車両基地もできる、この歴史が基になつてこそだと思いません。出来る限りボランティア活動を続け市民の皆さんにも見守っていただきたいと思つています。

私たちが「観光ボランティアガイドつるが」の活動

観光ボランティアガイドつるがは、お越しいただいた観光客の皆さんに真心をもつて敦賀をご案内してまいります。昨年は新型コロナウイルスの影響でその機会も減っていましたが、秋頃からは徐々にガイドの依頼も鉄道資料館への来館者も増えてきました。コロナ対策を万全にして皆さんをお迎えしたいと思つています。

新型コロナウイルスの感染拡大によってガイドの依頼も途絶えていましたが、秋になつて予約が入るようになりました。しかし、例年の半分にも満たない状況です。

県外への旅行を取りやめ行き先を県内に切り替えた学校も多く、氣比神宮などで熱心にメモを執る小中学校の生徒さんへのガイドも新鮮です。小中学生たちの旅行した後の感想は、近くにこんな良い所があるんだ、また来てみたい



地元小学校の生徒さん達からとても丁寧な可愛い礼状が届きました！！

また、旧北陸線を中心とした日本遺産の認定により報道をご覧になった方やご家族が国鉄にお勤めだった方が、鉄道資料館に来られ、写真などをご覧になり楽しく懐かしく話していただくことも有ります。電車のプリントがあるマスクをしたお子様など、電車の好きなお子様と一緒にご家族をお迎えするととても微笑ま



という声も多く聞かれたそうです。県内の身近な良いところにも学んでほしいとガイドの声に力が入ります。

また、旧北陸線を中心とした日本遺産の認定により報道をご覧になった方やご家族が国鉄にお勤めだった方が、鉄道資料館に来られ、写真などをご覧になり楽しく懐かしく話していただくことも有ります。

鉄道資料館への来館者も秋頃から徐々に増え、皆さんへの検温や受付表への記入、手指の消毒の実施などをお願いし感染対策を万全にしてお迎えしています。また、これまで鉄道資料館で開催してきた「鉄道カフェ」も会場をより広い会場の松原公民館に変更

し、10月24日にコロナウイルス対策を万全に、市内外から35名の参加を得て開催しました。身近な鉄道遺産を守つてきた取り組みへの感謝とともに今後も適切に管理してほしいとの声も聞かれました。

国の303トラベルによって、市内には観光客の皆さんも沢山来られるようになり、リニエールオープンした「人道の港敦賀ムゼウム」を訪ねる方も多くなっています。

金ヶ崎緑地が様々な世代の学びの場所、歴史に触れる場所、楽しい出会いの場所、海の見える憩いの場になつてきているようです。

私たち「観光ボランティアガイドつるが」は、笑顔でおもてなしの心とともに、魅力ある案内をさせていただきます。いと日々取り組んでいます。

（森 将臣）



私たちと一緒に楽しく活動を行ってみませんか。皆さんからのご連絡をお待ちしています。